

令和元年度 施策評価表

施策	1601	観光交流のまちづくり	施策担当部署	産業振興部	部長	高取 和也
			施策担当課等	観光振興課	課長	前川 靖彦
施策の方針	豊かな自然や歴史的・文化的な遺産等、本市の観光資源を活用し、滞在型観光やグリーン・ツーリズムの推進を図る。また、スポーツ大会などコンベンションの誘致強化に努める。					

【DO（実施）】

基本計画における目標値

①	指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
				H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
	① 観光交流人口（年間）	千人	1,194	1,251 1,312	1,364 1,469	1,434 1,979	1,504	1,580	138.0%	125.3%
	② 市内宿泊施設の延べ宿泊者数（年間）	千人	210	226 213	232 218	238 379	244	250	159.2%	151.6%
	③ 市内民泊施設の延べ宿泊者数（年間）	人	406	420 315	440 382	460 254	480	500	55.2%	50.8%
	④									
	⑤									

施策達成状況の説明

①観光交流人口と②市内宿泊施設の延べ宿泊者数は、県観光統計見直しに合わせ変更したため大きく増加した。
 ①H29 2,056千人 ②H29 390千人

観光交流人口は大村公園などの主要観光施設は増加傾向にあったが、平成29年度にはサーカス、大相撲大村場所、チームラボイベントなどが開催されたため、平成29年度と比較すると減少した。

宿泊施設の延べ宿泊者数は、前年より減少したが、目標値を上回った。

民泊施設の延べ宿泊者数も前年より減少し、目標値を上回ることはできなかった。

施策経費

内訳	(単位:千円)	H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
		事業費	47,325	41,285	
	国庫支出金	3,963	0	0	
	県支出金	1,377	1,096	1,620	
	地方債	0	0	0	
	その他	728	2,698	4,578	
	一般財源	41,257	37,491	36,001	
	人件費	23,682	26,594	-	
	フルコスト	71,007	67,879	-	

施策の概要

160101	歴史や自然等を活かした滞在型観光の推進	滞在型観光を推進するため、歴史・文化、自然など、本市ならではの観光資源を活用したまち歩きや体験プログラムなど、観光メニューの開発を行います。また、新幹線開業を踏まえ、県内外の観光地と連携した取組を進めます。
160102	グリーン・ツーリズムの推進	本市の豊かな自然環境等を活かした魅力的なグリーン・ツーリズムを更に推進するため、関係機関と連携し、農業体験や食育体験など、観光客のニーズに応じた体験プログラムの開発を行います。
160103	観光イベントの充実	「おおむら花まつり」、「おおむら夏越まつり」など、イベント内容の充実を図り、観光客の誘客に努めます。また、地域の祭りや行事などを観光イベントとして活用します。
160104	コンベンション誘致の強化	大村市観光コンベンション協会や長崎県観光連盟、長崎県スポーツコミッション等と連携し、各種会議・大会やスポーツ大会・合宿など、コンベンションの誘致強化に努めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>観光客数は、見直しを実施したため全体的に大幅な増加となったが、依然として日帰り客が8割を超えており、宿泊客数の割合は未だ低い状況である。滞在型観光に繋げるため、旅行業資格を取得した観光コンベンション協会と連携し、着地型観光メニューの開発が必要である。</p> <p>香港便や台湾のチャーター便など新たな国際線が就航するなか、インバウンドをいかに本市に呼び込むかが必要である。更なる交流人口拡大を図るため、観光イベントの充実、長崎観光連盟やスポーツコミッション、大村市観光コンベンション協会と連携したコンベンション誘致が必要である。</p>
-------------------------	--

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

--	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>市全体の宿泊客数が伸び悩むなか、大村市グリーンツーリズム協議会が実施する農家民泊の宿泊数は、中華圏をはじめとするインバウンドの受け入れが堅調に推移し、増加傾向にある。</p> <p>グリーンツーリズム協議会の農家民泊の大半は、インバウンドの修学旅行が占めており、旅行会社等との受け入れ調整、体験型観光の創出、学校交流の調整、受け入れ農家の調整など多岐にわたり、年々協議会の事務が煩雑となっているのが実情である。</p> <p>大村市グリーンツーリズム協議会への補助を実施することで、堅調に推移する農泊が更なる拡大、安定的な宿泊の定着となることを目指す。</p>
---	---

令和2年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
		事業費 (千円)	
1 大村市グリーン・ツーリズム推進事業	観光振興課	1,891	農家民泊、自然を活用した体験型観光を推進する大村市グリーン・ツーリズム推進協議会に対して補助を行う。また、農家民泊施設への翻訳機購入の助成を行い、農家民泊の更なる拡大、安定的な宿泊の定着となることを目指す。
2			
3			
4			
5			
		1,891	